

社会資本総合整備計画 事後評価書(中間評価書)

計画の名称	静岡市の暮らしを支えるみちづくり(第2期)(防災・安全)						
計画の期間	平成31年度～令和04年度(4年間)	交付対象	静岡市				
計画の目標	バリアフリー化等の交通安全対策や道路防災点検等に基づく法面の防災減災対策を実施するとともに、舗装や道路附属施設の計画的な点検・補修を取り組むことにより安全・安心な交通環境の整備を推進する。						

計画の成果目標(定量的指標)	主要な鉄道駅周辺の主な生活関連経路におけるバリアフリー化率を100%に向上させる。 主要幹線道路における舗装の打ち替えが必要となる延長の割合を15%以下に維持する。 緊急輸送路上における道路防災点検による対策が必要な箇所の対策実施率を100%に向上させる。 未就学児が集団で移動する経路等における主要交差点の安全対策実施率を100%に向上させる。 設備点検等により要補修・更新と診断された設備に対する対策取組率を50%以上とする。						
----------------	---	--	--	--	--	--	--

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値					備考				
	当初現況値	中間目標値	最終目標値							
	(H31当初)		(H34末)							
① 主要な鉄道駅周辺の主な生活関連経路におけるバリアフリー化率 バリアフリー化延長÷主な生活関連経路(10.77km)×100	62%		100%							
② 主要幹線道路における舗装の打ち替えが必要となる延長の割合 打ち替えが必要な必要となる延長÷主要幹線道路延長(153km)×100	15%以下		15%以下							
③ 緊急輸送路上における道路防災点検による対策が必要な箇所の対策実施率 対策実施箇所数÷要対策箇所数(30箇所)×100	53%		100%							
④ 未就学児が集団で移動する経路等における主要交差点の安全対策実施率 安全対策実施箇所数÷要対策箇所数(52箇所)×100	0%		100%							
⑤ トンネル設備対策取組率 対策取組(対策設計、更新工事等)トンネル数÷設備点検等により要補修・更新と診断されたトンネル数×100	0%		50%							
全体事業費	合計(A+B+C)	9,818百万円	A	9,818百万円	B	0百万円	C	0百万円	効果促進事業費の割合 C/(A+B+C)	0.0%

事後評価(中間評価)

○事後評価(中間評価)の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価(中間評価)の実施時期
市内部(事業関係課による横断的な検討体制)において評価を実施した後、学識経験者等の第三者で構成される静岡市公共事業評価委員会による審査を実施する。	令和6年度 公表の方法 委員会での審議結果等を市のホームページに掲載する。

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																	
A1 道路事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容(延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考
											H31	R02	R03	R04	R05		
A01-001	道路	一般	静岡市	直接	静岡市	都道府県道	交安	(主)梅ヶ島温泉昭和線バス停車帯設置事業 安倍口新田	バス停車帯設置 N=1箇所	静岡市						11	
A01-002	道路	一般	静岡市	直接	静岡市	都道府県道	交安	(県)静岡清水自転車道線自転車走行空間整備事業	自転車走行空間整備	静岡市						180	
A01-003	道路	一般	静岡市	直接	静岡市	都道府県道	交安	道路案内標識設置事業	道路案内標識設置 一式	静岡市						216	
A01-004	道路	一般	静岡市	直接	静岡市	市町村道	交安	バリアフリー道路特定事業	バリアフリー化 L=4.09km	静岡市						396	
A01-005	道路	一般	静岡市	直接	静岡市	都道府県道	交安	事故データ整理・事故危険箇所対策	事故対策 一式	静岡市						44	
A01-006	道路	一般	静岡市	直接	静岡市	市町村道	交安	生活道路対策	生活道路対策(路肩カラー化・ハンフ) 一式	静岡市						40	
A01-007	道路	一般	静岡市	直接	静岡市	国道	修繕	(国)150号ほか舗装修繕事業	舗装修繕 L=5.4km	静岡市						1,100	
A01-008	道路	一般	静岡市	直接	静岡市	都道府県道	修繕	(主)井川湖御幸線ほか舗装修繕事業	舗装修繕 L=14.0km	静岡市						1,650	
A01-009	道路	一般	静岡市	直接	静岡市	市町村道	修繕	(市)麻機街道線ほか舗装修繕事業	舗装修繕 L=5.3km	静岡市						830	
A01-010	道路	一般	静岡市	直接	静岡市	国道	点検	(国)150号ほか路面性状調査	点検 L=430km	静岡市						32	
A01-011	道路	一般	静岡市	直接	静岡市	国道	修繕	(国)362号ほか災害防除事業	法面防災対策 L=1.0km	静岡市						338	
A01-012	道路	一般	静岡市	直接	静岡市	都道府県道	修繕	(主)井川湖御幸線ほか災害防除事業	法面防災対策 L=5.9km	静岡市						1,852	
A01-013	道路	一般	静岡市	直接	静岡市	市町村道	修繕	(市)由比芝川線ほか災害防除事業	法面防災対策 L=1.5km	静岡市						470	
A01-014	道路	一般	静岡市	直接	静岡市	国道	点検	(国)道路防災点検・道路土工構造物点検	点検 L=15.5km	静岡市						114	
A01-015	道路	一般	静岡市	直接	静岡市	都道府県道	点検	(主)道路防災点検・道路土工構造物点検	点検 L=212.3km	静岡市						523	



2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<p>バリアフリー道路特定事業において（市）上川原広野線の段差等を改善し、安全で快適な歩行空間を確保した。 未就学児等移動経路の緊急安全対策において、（市）八坂町大田切線の車止め（ボラード）を設置することにより、歩行者の安全性の向上を図った。 災害防除事業において、（一）三峰落合線の道路沿いの斜面対策を実施し、自然崖岳のリスク低減を図った。 舗装事業において、（国）150号のひび割れ等の補修を実施し、通行の安全性向上を図った。 トンネル設備更新事業において（国）150号のトンネル内の設備更新を実施し、通行の安全向上を図った。</p>			
II 定量的指標の達成状況	指標①（主要な鉄道駅周辺の主な生活関連経路におけるバリアフリー化率）	最終目標値	100%	目標値と実績値に差が出た要因	無電柱化事業と同時整備を予定している箇所において、無電柱化の進捗が遅れているため未達成となった
		最終実績値	96.8%		
	指標②（主要幹線道路における舗装の打替えが必要となる延長の割合）	最終目標値	15%以下	目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値	9.8%		
	指標③（緊急輸送路上における道路防災点検による対策が必要な箇所の対策実施率）	最終目標値	100%	目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値	100%		
	指標④（未就学児が集団で移動する経路等における主要交差点の安全対策実施率）	最終目標値	100%	目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値	100%		
	指標⑤（トンネル設備対策取組率）	最終目標値	50%	目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値	62.5%		
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 （必要に応じて記述）					
3. 特記事項（今後の方針等）					
<p>指標が達成出来なかったバリアフリー事業に関しては、次期計画も継続して事業を推進し、安全・安心な交通環境の向上は図っていく。 指標が達成できたものについても、完了していない事業については、次期計画で継続して事業を行い、引き続き指標を達成できるように事業を推進していく。</p>					